

授業科目名	疾 病 と 治 療 Ⅳ			担当教員	佐藤 武、宮田 正和、 遠城 幸子、吉永 宗義	
開講年次	2 年前期	セメスター	3		時間数(単位数)	30 (1)
必修選択	必修	授業形態	演習		使用教室	
授業の目的	小児特有の疾病とその治療について学習する。精神疾患とその治療について学習する。					
到達目標	それぞれの疾患の病態生理（発症メカニズム）を理解し、治療法に結び付けて考えることができるようになる。					
ディプロマポリシーにおける科目の位置づけ	この科目は〈リベラルアーツ・専門基礎科目〉であり、「人間」「環境」「健康」「国際」の4つの主要概念の「健康」に位置付けられている。人体の構造と機能と同時に開講され、看護展開に必要な【自己教育力】と【問題解決力】を十分に養いながら看護の基盤となっていく科目である。精神科、小児科の基本的な疾患を理解し、それぞれの対象者への看護につなげる。					
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力	
		○		◎		
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)		取組時間	担当者
1	1. 小児疾患について以下の事項を理解する。 ① 新生児疾患：新生児の分類と疾患の特徴、呼吸窮迫症候群の臨床像と治療	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		予習 30 分 復習 30 分	吉永
2	② 新生児疾患：高ビリルビン血症、頭蓋内出血、虚血性低酸素性脳障害	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		予習 30 分 復習 30 分	吉永
3	③ 代謝性疾患、内分泌疾患：先天性代謝異常症、小人症、クレチン症	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		予習 30 分 復習 30 分	吉永
4	④ アレルギー疾患：気管支喘息、アトピー性皮膚炎	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		予習 30 分 復習 30 分	吉永
5	⑤ 小児に多い感染症：麻疹、風疹、水痘、ムンプス、突発性発疹症 ほか	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		予習 30 分 復習 30 分	吉永
6	⑥ 小児に特有の呼吸器疾患	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		予習 30 分 復習 30 分	吉永
7	⑦ 心疾患（先天性、後天性）	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要		予習 30 分 復習 30 分	吉永

8	⑧小児に特有の消化器疾患、腎疾患、神経疾患	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要	予習 30分 復習 30分	吉永
9	⑨小児に影響を与える以下の妊娠合併症について理解する。 妊娠前疾患（心疾患、糖尿病、甲状腺疾患、精神疾患、腎・泌尿器疾患）、妊娠中に発症する疾患（妊娠糖尿病妊娠悪阻、妊娠高血圧症候群）	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要	予習 30分 復習 30分	遠城
10	2. 精神科的疾患について以下の事項を理解する。 ①統合失調症と妄想性障害	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 （標準精神医学 第12章）	予習 30分 復習 30分	佐藤
11	②気分（感情）障害	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 （標準精神医学 第13章）	予習 30分 復習 30分	佐藤
12	③神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 （標準精神医学 第9章）	予習 30分 復習 30分	宮田
13	④発達障害	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 （標準精神医学 第14章）	予習 30分 復習 30分	宮田
14	⑤人格障害、摂食障害、物質関連障害、てんかん	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 （標準精神医学 第10章）	予習 30分 復習 30分	佐藤
15	⑥脳の機能と薬物療法	講義	左記の各回の授業内容を予習するだけでなく、理解するまでの復習が重要 （標準精神医学 第9章）	予習 30分 復習 30分	佐藤
先行履修科目					
テキスト		奈良間美保 他：系統看護学講座 専門分野2 小児看護学〔2〕小児臨床看護各論. 医学書院, 2015. 森恵美 他：系統看護学講座 専門分野2 母性看護学〔2〕母性看護学各論. 医学書院, 2016. 野村 総一郎 他 編集：標準精神医学 第6版. 医学書院, 2018.			
参考文献		Kliegman, R. et al : Nelson Textbook of pediatrics (19th), Elsevier/Saunders, 2011.			
評価方法		定期試験（100%） ※配点の内訳は、コマ数によって配分します。			
教員等の実務経験		小児、母性、精神領域の医師免許を有する医師が、その経験を活かして、看護活動に必要な知識について講義します。			
メッセージ		1. 講師の都合により、講義の順序が変更になる可能性がある。 2. 人体の構造と機能の復習が必須である。 3. 授業終了後は必ず学修課題に記載された学修方法で復習を深めること			